

第7次岡谷市男女共同参画計画（案）審議内容について

○全般的

	ご意見・ご要望	市の考え方等
1	・多くの人にわかってもらうためには、文章内の言葉を極力日本語にした方がわかりやすい。 例) ・アンコンシャスバイアス…無意識の思い込み ・ワーク・ライフ・バランス …仕事と生活の調和	外国語や外来語なども含め、意味が広く伝わっていない言葉に関しては、資料編に用語解説として、まとめて説明させていただいております。そのほか、カッコ内で日本語を表記します。 例) ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）
2	・女性そのものの意識が低いと感じる。女性はどうなのか、アンケート調査結果にはなかったのか。	5ページに「女性自身が責任ある役職に就くことを避けている」と記載させていただいております。 18ページ基本目標2、施策（1）意思決定過程への女性の参画促進の「現状と課題」へ働く場の調査結果による「管理職を希望するか」を追加記載したいと考えています。
3	・文書の配布やホームページなどだけでは効果が薄い。学校や企業、自治会等へ出向き講座を開くなど、直接説明等したほうが良い。 ・啓発のためのイベント、講演、活動について、多くの人の集まるイベントとタイアップするなど、工夫すると良いのではないかな。 ・情報発信の方法として、もっとLINEを活用してもいいのではないかな。若い世代は、短い文章と画像が自然に目に触れるような形で発信すると効果があると思う。	いただきましたご意見を、事業を実施する際の参考にさせていただきます。

○第1章 計画の策定にあたって

4 男女共同参画に関する岡谷市の現状

3ページから

	ご意見・ご要望	市の考え方等
4	3ページ ①固定的な性別役割分担意識について ・「家庭生活」「地域活動」に改善が見られなかったことに対して、改善できるようにしてほしい。	固定的な性別役割分担意識が少しでも解消できるよう、事業を実施してまいります。

ご意見・ご要望		市の考え方等
5	5ページ ②意思決定段階への女性の参画について ・「女性自身が責任ある役職につくことを避けている」には、理由がある。意識を変えるだけでなく、理由を掘り下げ、改善していく必要があると思う。	内閣府で実施したアンケートでは、「育児や介護、家事などに女性の方がより多くの時間を費やしていることが女性活躍が進まない要因の一つ」であるという考え方に対し、「そう思う」と回答している人が84%と多く状況でした。必要な支援としては、仕事との両立を支援するための施策（育児、介護休業制度や時短勤務制度など）の整備を求める声が多く、次いで育児・介護のサポート支援制度でした。 審議の中でいただきました意見を参考に、今後事業の参考にさせていただきます。
6	6ページ ③男性の育児休業について ・誰もが制度を利用しやすい雰囲気にするための意識改革をするのに、誰を対象にしているのか抽象的でわかりにくい。また、意識改革のほかに使いやすい制度にするなどの改革も必要だと考える。	ご審議の中でも出ておりましたが、「誰」というのは、経営者であり、従業員であり、育休取得を希望する者や家族、地域すべての意識を変える必要があると考えています。 6ページ上段に制度の充実、下段に意識改革とどちらも必要だと考えており、計画を取り組む段階において、いただいたご意見を参考にしたいと考えております。

○第3章 計画の内容

基本目標1 男女共同参画社会の実現に向けた意識づくり

13ページから

ご意見・ご要望		市の考え方等
7	・書いてある内容に具体性が足りない。もう少し、具体的なアイデアをどこかににじませるとか、別紙でもいいので作ることも必要だと思う。	計画案では、施策の内容として取り組み内容を記載しております。今後、年度ごとその取り組みを推進するための実施計画、実施報告をまとめ、審議会にて報告、ご審議いただくようにしてまいります。
8	・啓発活動などは、市だけでなく、いろんな団体とイベントを通して男女共同参画についても考えていける機会をつくるなど、連携して実施していくことも啓発に繋がると思うので工夫をしてほしい。	いただきましたご意見を、事業を実施する際の参考にさせていただきます。 また、他課へも共有させていただきます。
9	・情報提供は難しい。広報、ホームページに出しても見てもらえないこともある。もっと効率的に、直接、学校や企業へ出向いて伝えていくことがよい方法と考える。 ・LINEの活用も含めていくといいと思う。いろいろな方法で情報提供をしていただきたい。	情報提供は、非常に難しいと捉えております。周知する内容にあわせ、広報やホームページ、LINE、そのほかメディアに協力してもらうなどあらゆる手段を活用して、提供の内容にも工夫しながら広く情報提供を行ってまいります。

ご意見・ご要望		市の考え方等
10	18 ページ ・人口減少の影響からか、教師や保育士のなり手も減っている。人が足りない中、管理職になりたいと思う人も少ないような気もする。そのことも踏まえて意識改革が必要。	いただいたご意見については、今後の施策の参考にさせていただきます。
11	20 ページ ・男性中心の働き方を、改善していくためにも、「育児・家事時間の増大への意識改革が必要」などもう少し具体的なことを表記していくのはどうか。	20ページの内容を見直し、「男性の家庭生活の参画促進」という言葉を追加していくよう検討します。
12	23 ページ ・女性が活躍するための環境整備として、社会全体が見ていくためにも、保育園の長時間保育や学校関係などを無償にするなど、活用しやすくする必要があるのではないか。	いただいたご意見については、今後の施策の参考にさせていただきます。

ご意見・ご要望		市の考え方等
13	27 ページ ・近年は、SNSによる被害等も増加している。「SNSによる被害防止 誹謗中傷、いじめ等の暴力防止」を追加してほしい。	27ページの現状と課題の部分2段落目の最後に「また、近年では、SNSの広がりに伴い、暴力の種類も多様化しています」と記載してありますが、文言を変更するよう検討します。また、施策の内容についても生涯学習課とも相談しまして、「有害環境の改善」の部分をSNSについても加えるなど検討します。
14	29 ページ ・ハラスメント防止に向けた啓発の方法について、SNS等での情報発信だけでなく、事業所で直接講座を開催する方法など有効ではないかと思うので、相手の耳に届けるようなやり方を加えたほうがいいのか。	いただきましたご意見を、事業を実施する際の参考にさせていただきます。
15	31 ページ ・民生児童委員による見守り活動について、個人情報もあるかと考えますが、記載するのであれば、情報共有をしていただけると、もっと協力できると思う。	いただきましたご意見を担当課へ伝えてまいります。

○第4章 計画の推進

1 計画の進行管理

37ページから

ご意見・ご要望		市の考え方等
16	36 ページ (1) 取り組みの目標指標の設定 ・目標値が低いのではないか。 目標値の設定については市に一任しますが、設定されたものを確実に5年間で達成していくことを前提に事業を実施してほしい。達成できたときには、次は当然高い目標値になっていくと思います。	目標値に届くよう、行政、事業所、市民と協力して事業を実施してまいります。
17	37 ページ (2) 市民意識調査（市民アンケート）の実施 ・市民アンケートの実施方法について、LINE を活用することもひとつ。調査内容にもよるが、若い世代は、LINE をみて情報収集していることも多いと思うので、検討していただきたい。	次回の市民アンケートを実施する際、いただきましたご意見を参考にさせていただき、より多くの方に回答いただけるよう検討したいと考えています。